

第15回応用物理学会業績賞（教育業績）受賞者と受賞理由

件名：インターネット・書籍等を通じた応用物性分野の教育・普及活動への貢献

受賞者：佐藤 勝昭 所属：科学技術振興機構

佐藤勝昭氏は、長年にわたり、インターネットや書籍等を通じて応用物理学に関わる科学技術をわかりやすく解説することにより、広く若手研究者・技術者の育成と社会における普及活動を行い、応用物理分野に多大な貢献を果たしてきた。

2000年にインターネットのWEBサイト「物性なんでもQ & A」を開設し、半導体・金属・光・磁性・結晶工学などを中心とした応用物性に関する質問を幅広く受け、わかりやすく適切な回答を迅速に掲載し、小中高生、大学・大学院生、企業研究者・技術者などからの1300件余りの質問に回答してきた。それらのQ & Aには索引がつけられ、キーワードを調べることで、容易に目的とする項目にたどりつけるようになっている。これらの活動により、若手研究開発者や応用物理学に興味をもつ青少年や一般人の知的基盤の底上げに貢献してきた。閲覧数も多く、2007年以降でも60万件を超えている。インターネット時代の理工系教育に対してまさに先鞭をつけた業績である。さらに、学協会での招待講演、大学での講義

や市民講座などで用いたパワーポイントファイルをWeb公開するほか、eラーニングに積極的に取り組むなどインターネットをフルに活用した教育活動を行ってきた。また、書籍出版に関しても、数多くの一般・初学研究者向けの書籍を執筆し、科学知識の普及に努めてきた。

学会活動の一環として、「物性なんでもQ & A」をコンパクトにまとめた連載記事は応用物理学会結晶工学分科会の会誌『Crystal Letters』に毎回掲載され、2014年9月号の最終回までに22回を数えた。

以上のように「インターネット・書籍等を通じた応用物性分野の教育・普及活動への貢献」に関する同氏の業績は、学生・若手研究開発者の育成・啓発、科学技術に関する青少年・一般人への啓発に大きく貢献する卓越したものであるといえ、応用物理学会業績賞（教育業績）として誠に相応しいものである。



- 佐藤 勝昭氏(さとう・かつあき) 略歴
- 1966年 京都大学大学院工学研究科修士課程 修了
 - 1966年 日本放送協会 入局
 - (1968年 同放送科学基礎研究所)
 - 1978年 工学博士 京都大学
 - 1984年 東京農工大学工学部 助教授
 - 1989年 同 教授
 - 2005年 東京農工大学 理事・副学長(教育担当)
 - 2007年 同 名誉教授
 - 2007年 科学技術振興機構(JST) 戦略的創造研究推進事業さきがけ「次世代デバイス」研究総括
 - 2008年 JST研究広報主監
 - 2010年(兼務) JST研究開発戦略センターフェロー
 - 2012年(兼務) サイエンスウィンドウ アドバイザー

- 主な著書
- 光と磁気(朝倉書店, 1988年, 改訂版: 2001年), 応用電子物性光学(コロナ社, 1989年), 金色の石に魅せられて(裳華房, 1990年), 応用物性(オーム社, 1991年), 機能材料のための量子工学(講談社, 1995年), 新しい磁気と光の科学(講談社, 2001年), 理科力をきたえるQ&A(SBクリエイティブ, 2009年), 半導体物性なんでもQ&A(講談社, 2010年), 太陽電池のキホン(SBクリエイティブ, 2011年), 磁性超入門 ようこそまぐねの国に(共立出版, 2014年)

- 主たる受賞
- 1997年 応用磁気学会 出版賞
 - 2003年 応用磁気学会 業績賞
 - 2003年 応用物理学会 JJAP 編集貢献賞
 - 2007年 応用物理学会 フェロー表彰
 - 2014年 日本結晶成長学会 貢献賞